

Nature 誌掲載 STAP 論文について

2014 年 3 月 14 日

独立行政法人理化学研究所
発生・再生科学総合研究センター
センター長 竹市雅俊

この度は、当センター職員が発表した研究論文に不適切な点が多あり、大きな混乱を生み出しましたことについて、センターの責任者として心からお詫び申し上げます。今回報告いただいた調査委員会の中間報告を真摯に受け止めております。

誤りを指摘された論文著者は、論文の訂正を Nature 誌に投稿しているところではありますが、種々の誤りの中に、論文の信頼性を著しく損ねる誤りが発見されました。これにより、本論文を速やかに撤回し研究をやり直すことが最も重要であると私は判断し、論文撤回を著者に勧めました。ただし、論文の撤回は、全ての責任著者の合意を経た上で、撤回についての最終判断は Nature 誌に任されております。

本論文がこのような状況に陥ったことは誠に遺憾であります。私共は、今回の出来事を教訓とし、これまで以上に、研究の実施及び論文作成等における倫理観の育成、適正な情報管理を行うための心構えを再確認し、再びこのような事態が起こらないよう最善を尽くして参ります。STAP 細胞の真偽については、独立の研究グループによって検証・再現されることが唯一の手段であります。科学者コミュニティによる積極的な検証を是非ともお願いしたく存じます。